（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	重症心身障害児型放課後等デイサービスぽぷりす

公表日　令和8年　3月　3日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		車椅子やバギーから降りて過ごすことを中心にすることでスペースを広く活用できるようにしています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		1対1以上の人員配置を基本とし、児童1人ひとりとしっかり関われる環境を整えています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	3		玄関口のスロープや段差の安全性の確保の徹底
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に応じた空間となっているか。	6	1	車椅子に乗って過ごすスペース、 マットに降りて過ごすスペース、静養室 と分けて過ごせるようにしています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		個別の面談訓練を実施する際は、個室を使用しています。 また、完全ゆっくり静かに過ごしたいという要望に応じた個別の利用に努めています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が関っているか。	4	3	職員会議を開催し、現在の様子や注意点、支援内容について協議しています。	正規職員を中心に会議を実施しているため、非常勤職員にも丁寧に周知できる環境を整備していきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	職員会議、カンファレンスを通して職員それぞれに発言機会を与え、情報共有や改善向けた話し合いを行っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	5		第三者評価をどのように取り入れていくのが良いかの発掘と実践を行います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		法定研修に加え、法人内でのケース報告や研修を実施しています。	
適切な支援の提供	11	適応支援プログラムが作成、公表されているか。	7		放課後等デイサービス計画をホームページへ掲載、毎月の活動予定表を各事業所に配布しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	5	2		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する事により確認しているか。	4	3		重症心身障害児に適応できるツールが 少ないという現状もありますので、よい ツールを探しながら導入に向けて進めていきたいと思います。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・関係機関」のならび方と支援内容を踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、そのより、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	2	全体で活動についても意見交換を行い、 目的をはっきりさせて提供するよう心掛けています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		常に活動内容について児童指導員を中心に検討することでマンネリ化の予防に努めています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	2	集団活動、個別活動どちらもバランスよく実施できるよう調整し支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間でめざす打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	2		
	21	支援終了後には、職員間でめざす打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	5		可能な限り、振り返りを行っていますが、時間が限られていることもあり、翌日になることもあるため、改善できるよう努めていいます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	2		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5	2		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をするカを育てるための支援を行っているか。	6	1	言葉が弱手な児童も多いため、自己決定しやすいような選択等の提案を設け自己決定支援をおこなっている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		児童発達支援管理責任者を中心に、適宜参加する職員を調整しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	2		
	29	医学的に利用している保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1	児童発達支援センターと連絡や電話連絡等で児童の状況等の共有を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。				利用児童の卒業等がまだないため、今後は連携を取れるよう整備してまいります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	2	5		連携を深めていけるよう努めてまいります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		7		連携を深めていけるよう努めてまいります。
	33	（仮立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	6		連携を深めていけるよう努めてまいります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		連絡帳アプリに様子の記載、写真の掲載を行うことで、事業所内の様子がわかるなど伝わるようエ夫しています。また、利用日以外にも連絡を行い、情報共有をしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	4		ペアレントトレーニングを進めていけるよう準備をしているところです。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	1		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	7			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	1		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7			ご家族同士が話を合わせて、交流ができる機会をつくるために、勉強会や茶話会の開催を計画中です。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		SNSの活用と、連絡帳アプリを用いることで文面だけでなく、写真で活動の様子を見ていただけるよう工夫しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招請する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5		新型コロナウイルス等の感染リスクもあり、ごく限られたかたしか参観できていないため、今後はさらに幅広く開かれた事業所にしていけるよう努めて参ります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	7			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	2		自事業所だけでなく、公表されている事例集も用いながら共有していきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		研修の開催、支援の振り返りをしています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	1	記載と説明を徹底しています。	